

記者発表資料

大阪経済記者クラブ会員各位

大阪商工会議所
(社) 関西経済連合会

「第41回経営・経済動向調査」結果について

大阪商工会議所と関西経済連合会は、会員企業の景気判断や企業経営の実態について把握するため、四半期ごとに標記調査を共同で実施している。今回は2月下旬から3月上旬に、1,779社を対象に行い、457社から回答を得た（有効回答率25.7%）。

それによると、国内景気はプラスに転じ、自社業況判断もマイナス局面ながら前期（平成22年10～12月期）に比べ改善。足踏みを続けていた景況に、明るさが見られる結果となった。

（※ただし、今回の調査結果は平成23年3月11日に発生した「東北関東大震災」の影響を反映していない。）

【調査結果の特徴】

1 国内景気について ～足もとは3四半期ぶりのプラス

- 1～3月期の国内景気について、前期（平成22年10～12月期）と比べ「上昇」と見る回答は22.4%、「下降」と見る回答は17.1%。この結果、BSIは5.3で、3四半期ぶりのプラスに転じた。
- 先行きについても、4～6月期のBSIは6.9、7～9月期は9.8と、改善傾向が続く見通し。

2 自社業況について ～13四半期連続でマイナスとなるも、先行きは改善傾向

- 1～3月期における自社業況の総合判断については、前期と比べ「上昇」が24.9%、「下降」が26.5%。この結果、BSIは▲1.6。13四半期連続でマイナスとなったものの、前期（▲9.9）より改善した。
- 先行きについては、4～6月期のBSIが1.4、7～9月期が5.0と、プラスに転じる見込み。
- 企業規模別に見ると、大企業の足もとBSIは3.4、4～6月期は6.9とプラス基調。他方、中小企業の足もとBSIは▲4.8、4～6月期は▲2.2と、マイナス基調が続く見込み。自社業況判断には企業規模により差が生じている。

3 原材料価格高騰の影響について ～コスト削減や価格転嫁で対応

- 現時点の原材料や商品の仕入れ価格について、前年同月比で「上昇している」との回答は7割強（71.3%）に及んだ。また、3カ月後の仕入れ価格については、8割近く（78.3%）が前年同月比で「上昇する」と予想した。
- 仕入れ価格上昇への対策については、「人件費や固定費などの経費削減」（48.8%）、「より安価な仕入れ先への変更」（38.0%）といったコスト削減のほか、上昇分の一部または全部を価格転嫁するという回答も多く見られた。

以上

【お問合せ】 大阪商工会議所 経済産業部（近藤・伊藤） TEL（06）6944-6304

第41回経営・経済動向調査

大阪商工会議所 (社) 関西経済連合会

<目次>

1. 国内景気	2
2. 自社業況 総合判断	3
3. 自社業況 個別判断	4
4. 原材料価格高騰の影響について	8
参考(BSI値の推移)	11
参考(国内景気判断と自社業況判断の推移)	12

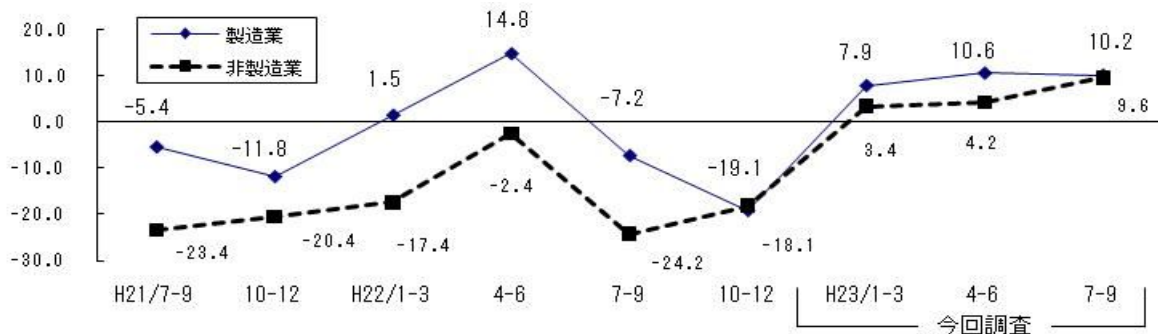
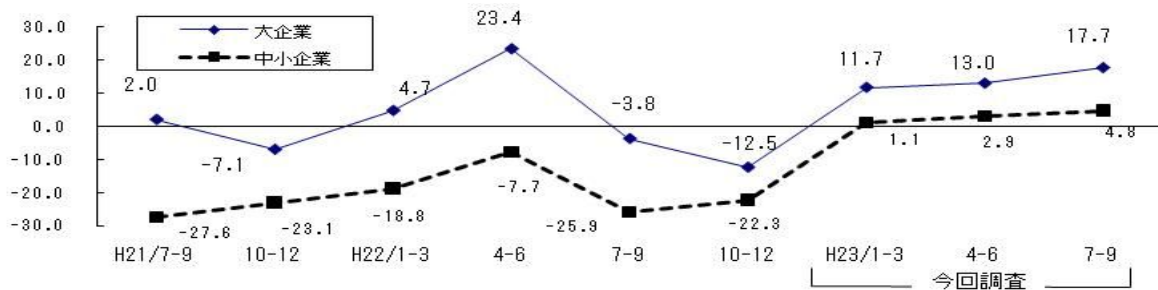
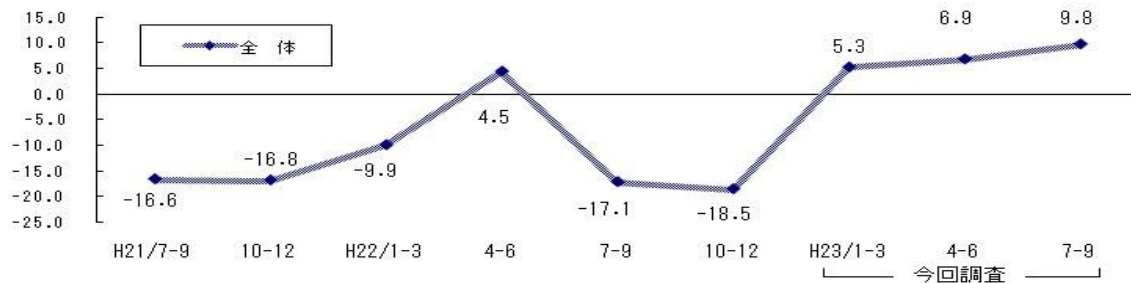
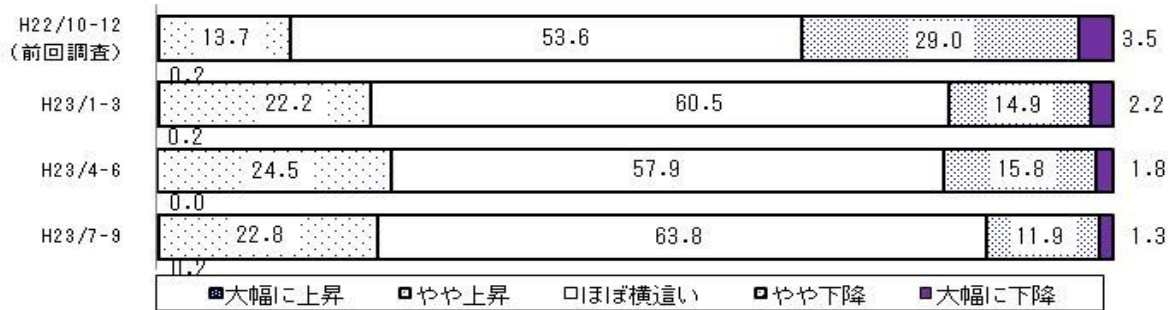
<概要>

- ▶ 調査対象：大阪商工会議所・関西経済連合会(甲種会員)の会員企業 1,779社
- ▶ 調査時期：平成23年2月23日(水)～3月4日(金)
- ▶ 調査方法：調査票の発送・回収ともFAXによる
- ▶ 回答状況：457社 (有効回答率 25.7%) (大企業：179社、中小企業：278社)
 企業区分は、中小企業基本法に準拠し、次を中小企業とする。
 (製造業他：資本金3億円以下、卸売業：資本金1億円以下、小売業・サービス業：資本金5千万円以下)
- ▶ 規模・業種別回答状況：

	製造業			非製造業			
	大	中	計	大	中	計	
食料品	4	8	12	卸売業	25	63	88
繊維工業・製品	5	3	8	小売業	2	6	8
パルプ・紙製品	1	1	2	出版・印刷	1	10	11
化学工業	20	14	34	建設業	16	34	50
鉄鋼	5	7	12	不動産業	7	5	12
非鉄金属・金属製品	8	17	25	運輸・通信業	11	20	31
一般機械器具	4	6	10	金融・保険業	10	1	11
電気機械器具	13	15	28	電気・ガス・熱供給・水道業	2	1	3
輸送用機械器具	6	2	8	サービス業	24	28	52
精密機械器具	3	7	10				
その他製造業	12	30	42				
計	81	110	191	計	98	168	266

1. 国内景気

BSI(1～3月期)は5.3。3四半期ぶりのプラス。



<足もと>

平成23年1～3月期における国内景気を、前期(平成22年10～12月期)と比べ「上昇」と見る回答は22.4%、「下降」と見る回答は17.1%。

この結果、BSI(「上昇」回答割合-「下降」回答割合、以下同じ)は5.3で、3四半期ぶりのプラスに転じた。

<先行き>

4～6月期は6.9、7～9月期は9.8と、プラスで推移する見通し。

<規模別>

大企業の足もとBSIは11.7、中小企業は1.1。4～6月期は大企業13.0、中小企業2.9。企業規模を問わず、プラス基調となる見込み。

<業種別>

製造業の足もとBSIは7.9、非製造業は3.4。4～6月期は製造業10.6、非製造業4.2。

いずれもプラスでの推移が見込まれている。

2. 自社業況 総合判断

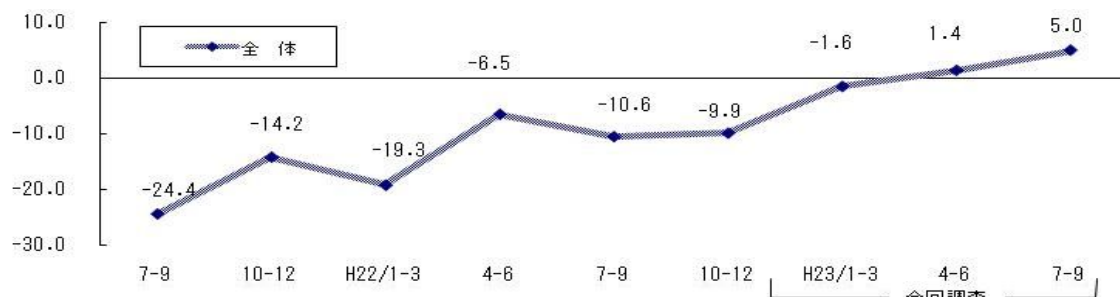
BSI(1～3月期)は▲1.6。13四半期連続でマイナスとなるも、先行きは改善傾向。



<足もと>

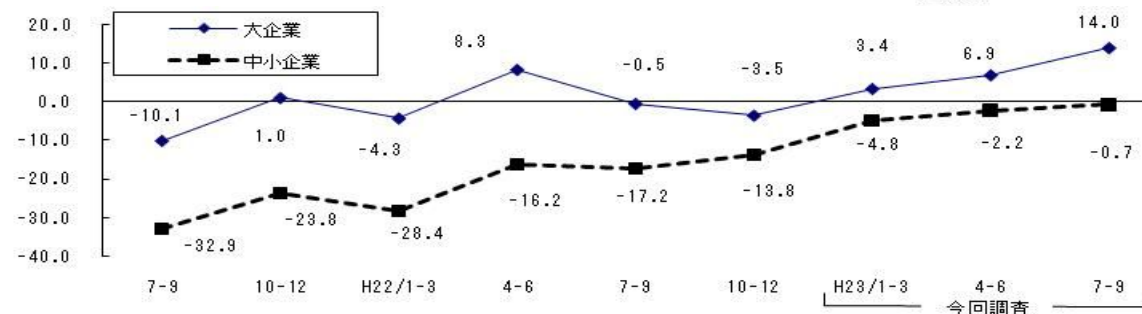
自社業況の総合判断について、1～3月期が前期（平成22年10～12月期）と比べ「上昇」と見る回答は24.9%、「下降」と見る回答は26.5%。

この結果、BSIは▲1.6と、13四半期連続のマイナス局面となった。



<先行き>

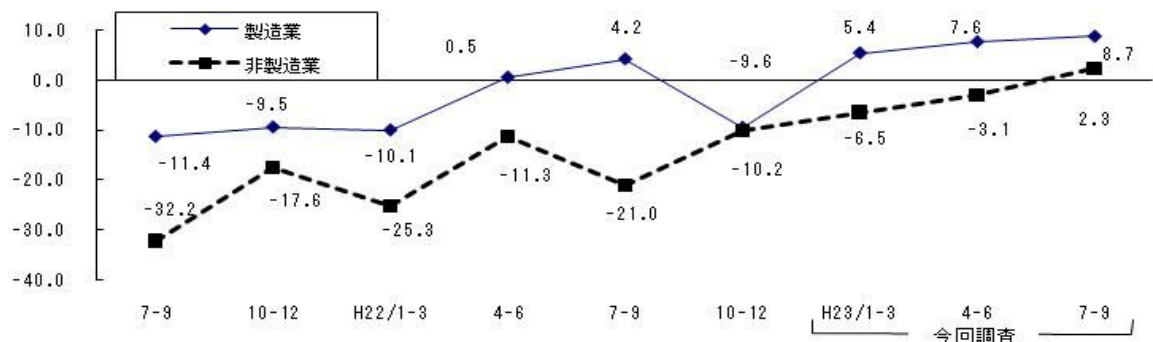
平成23年4～6月期のBSIは1.4とプラスに転じる見込み。



<規模別>

企業規模別に見ると、大企業の足もとBSIは3.4、中小企業は▲4.8。4～6月期は大企業が6.9、中小企業は▲2.2。

企業規模により、業況判断に差が生じている。



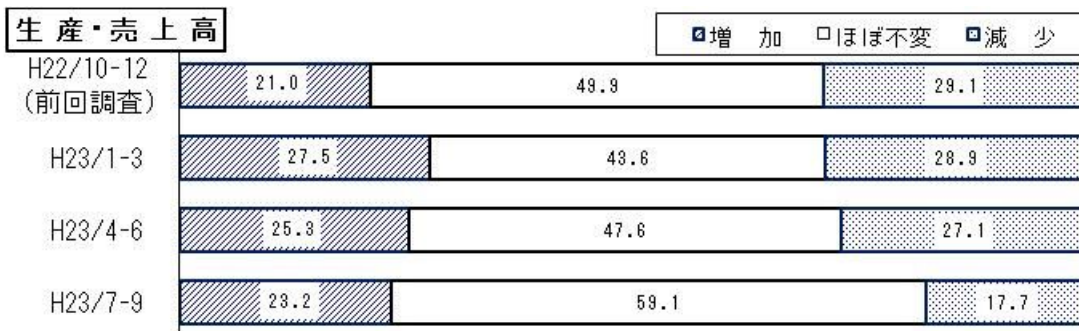
<業種別>

業種別では、製造業の足もとBSIは5.4、非製造業は▲6.5。先行きについては、4～6月期の製造業BSIが7.6、非製造業が▲3.1。

製造業がプラスで推移する一方、非製造業はマイナスが続いており、業種により業況判断に差が生じている。

3. 自営業況 個別判断

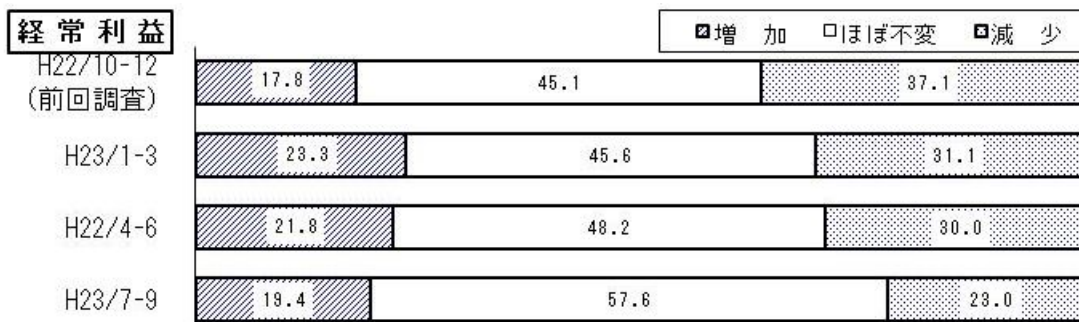
売上・経常利益はマイナス局面ながら改善。ただし、先行きも減少が続く見込み。



<生産・売上高>

1～3月期のBSIは▲1.4と、前期(▲8.1)より回復。

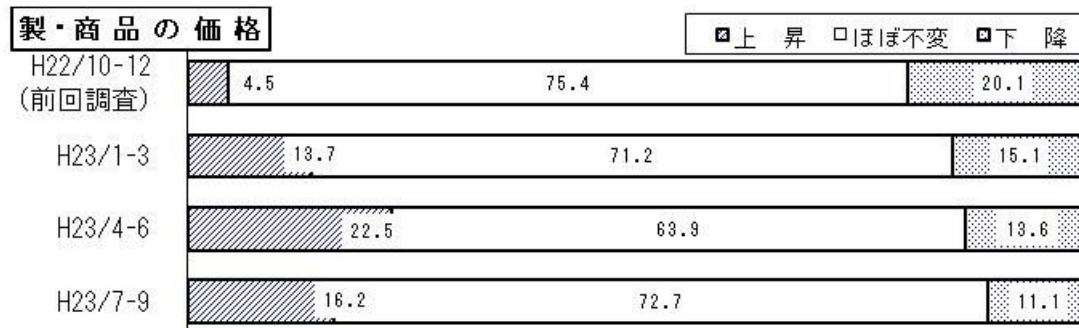
ただし、先行きも4～6月期は▲1.8と、マイナス圏内で推移する見通し。



<経常利益>

1～3月期のBSIは▲7.8、4～6月期は▲8.1。

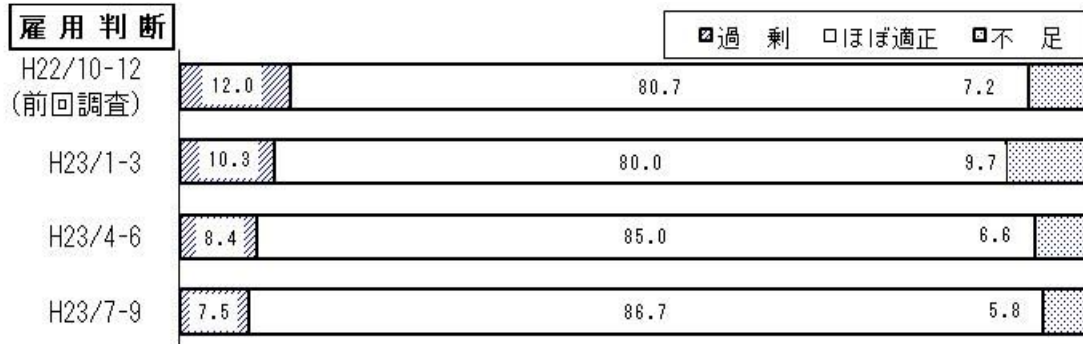
足もとは、マイナス局面ながら前期(10～12月期：▲19.3)より、11.5ポイント回復した。



<製・商品の価格>

1～3月期のBSIは▲1.4。4～6月期の先行きBSIは9.0。

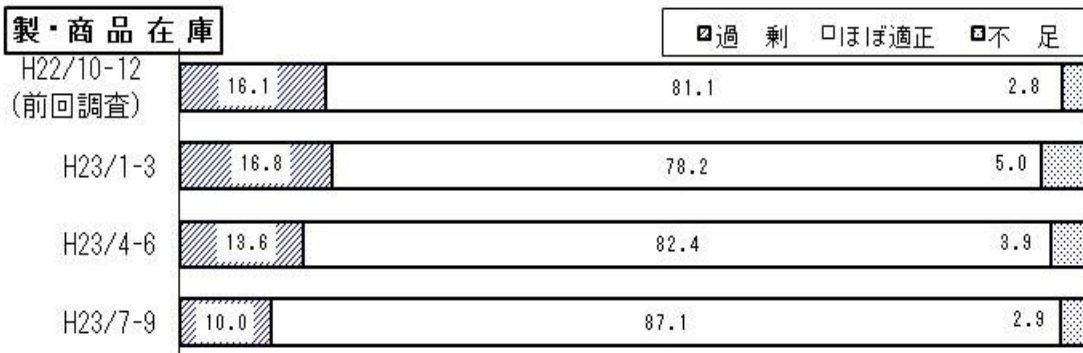
価格は先行き上昇傾向と見る企業が多い。



＜雇用判断＞

1～3月期のBSIは0.7。「ほぼ適正」が8割を占める。

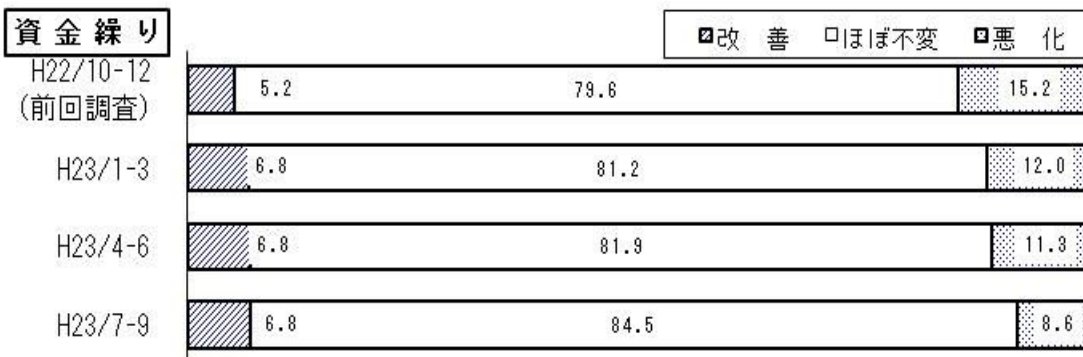
4～6月期についても、「ほぼ適正」は8割台半ば（85.0%）を占める見込み。



＜製・商品在庫＞

足もとのBSIは11.8。前期（10～12月期：13.3）と比べ過剰感はやや和らいでいる。

先行きも4～6月期が9.7と、過剰感の緩和は継続する見込み。



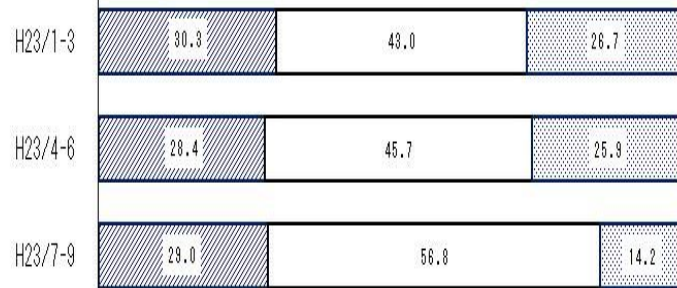
＜資金繰り＞

1～3月期のBSIは▲5.2。マイナス圏内が続いているものの、前期（10～12月期：▲10.1）と比べ改善している。「ほぼ不変」も約8割（81.2%）を占める。

【参考—個別判断 企業規模別】

大企業 自社業況 個別判断

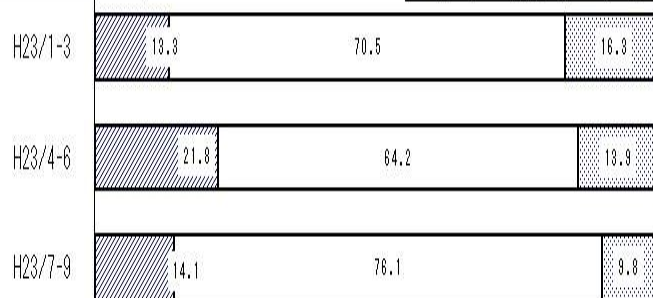
生産・売上高



経常利益

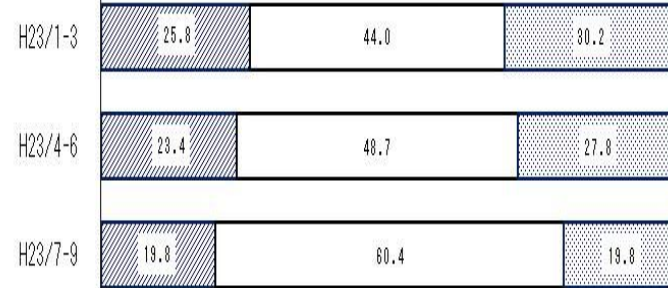


製・商品の価格



中小企業 自社業況 個別判断

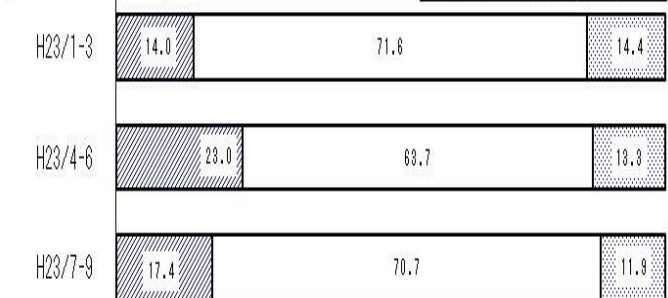
生産・売上高



経常利益



製・商品の価格



<生産・売上高>

足もとのBSIは、大企業がプラス(3.6)、中小企業はマイナス(▲4.4)。

<経常利益>

大企業のBSIは、先行きプラスに転じる見通し。他方、中小企業は足もと▲10.2、4～6月期が▲15.8と、悪化が見込まれている。

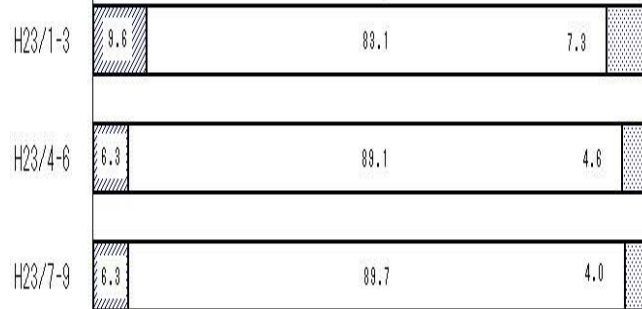
<製・商品の価格>

企業規模を問わず、先行きの製・商品価格は上昇傾向に転じると見込まれている。

大企業 自社業況 個別判断

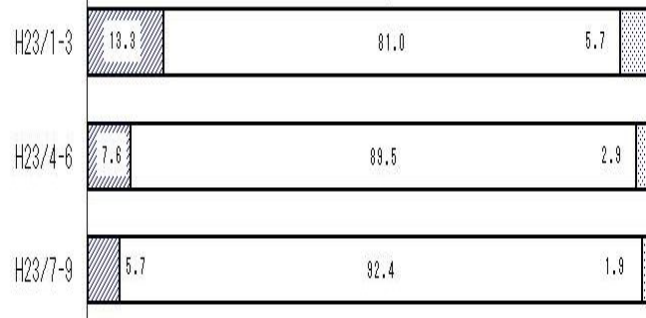
雇用判断

□過剰 □ほぼ適正 □不足



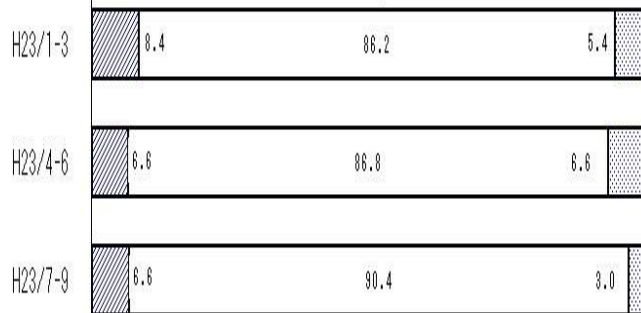
製・商品在庫

□過剰 □ほぼ適正 □不足



資金繰り

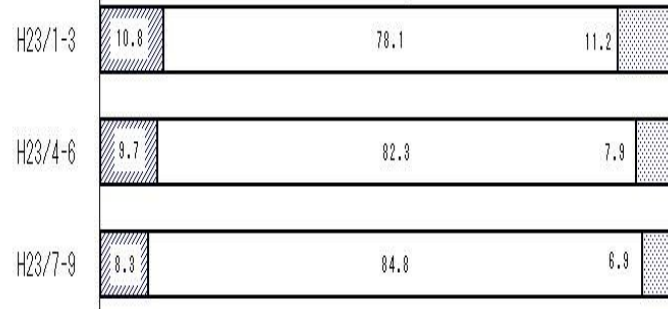
□改善 □ほぼ不変 □悪化



中小企業 自社業況 個別判断

雇用判断

□過剰 □ほぼ適正 □不足



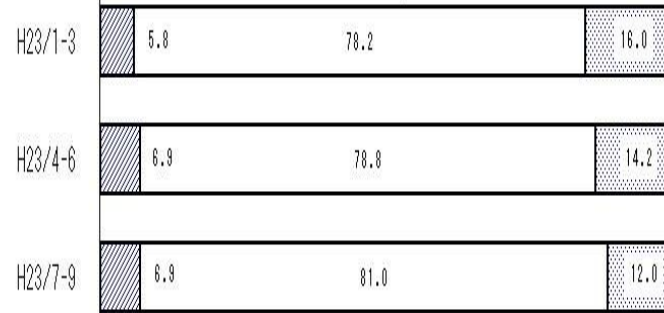
製・商品在庫

□過剰 □ほぼ適正 □不足



資金繰り

□改善 □ほぼ不変 □悪化



<雇用判断>

足もとは、中小企業で若干の不足感が生じている。

ただし、4～6月では企業規模を問わずBSIはプラスに転じる見込み。

<製・商品在庫>

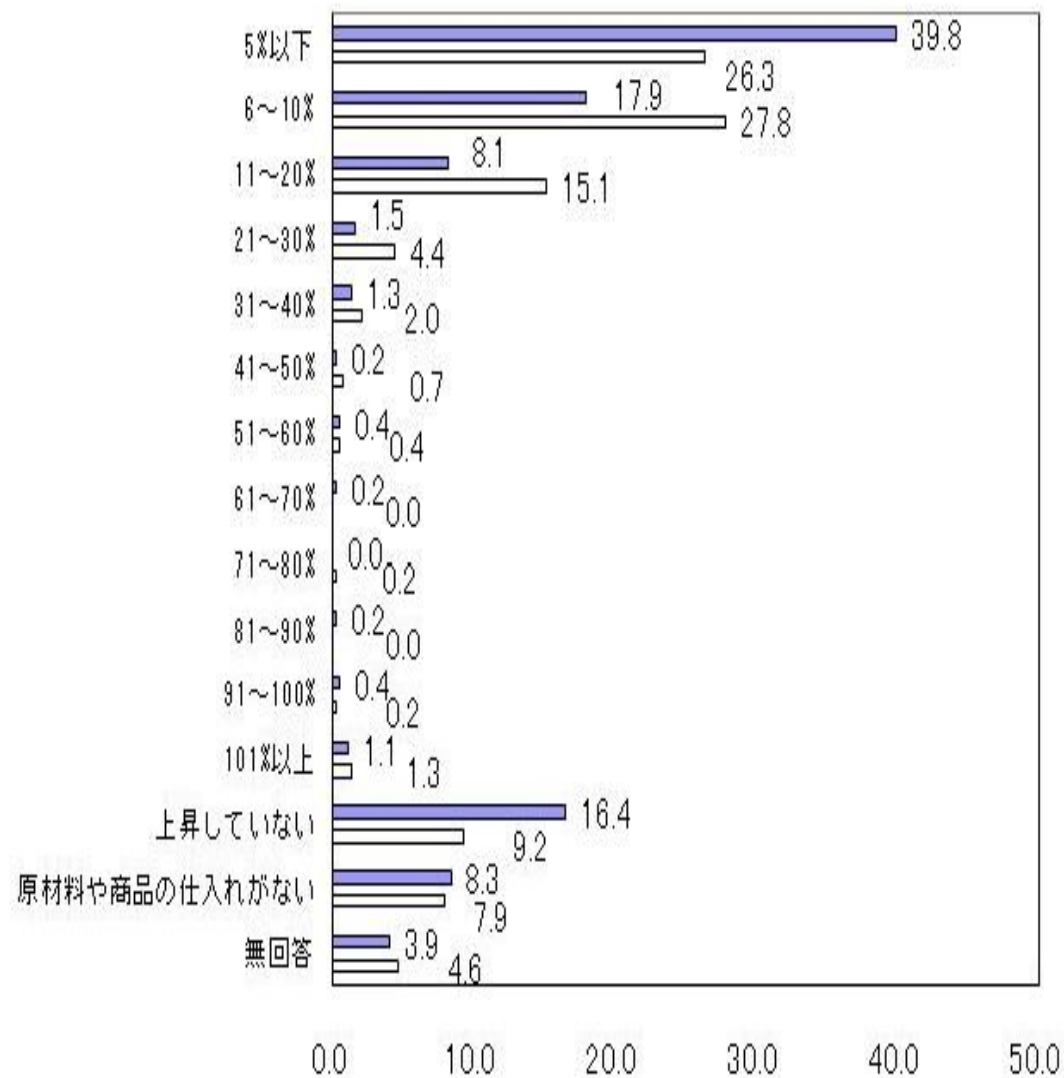
中小企業の足もとBSIは2ケタのプラス(14.3)。在庫の過剰感が強い。

<資金繰り>

中小企業では、足もと・先行きともBSIはマイナスで推移。資金繰りについて厳しい見方が多い。

4. 原材料価格高騰の影響について

(1) 原材料・商品の仕入れ価格(前年同月比)



原材料や商品の仕入れ価格(前年同月比)について、現時点で「上昇している」との回答は7割強(71.3%)に及んだ。

上昇幅については、「5%以下」との回答が最も多い(39.8%)。

3カ月後に予想される仕入れ価格の水準については、前年同月比で「上昇する」との回答が8割近い(78.3%)。

上昇幅については、「6~10%」(27.8%)が最も多く、「5%以下」(26.3%)との回答が続いた。

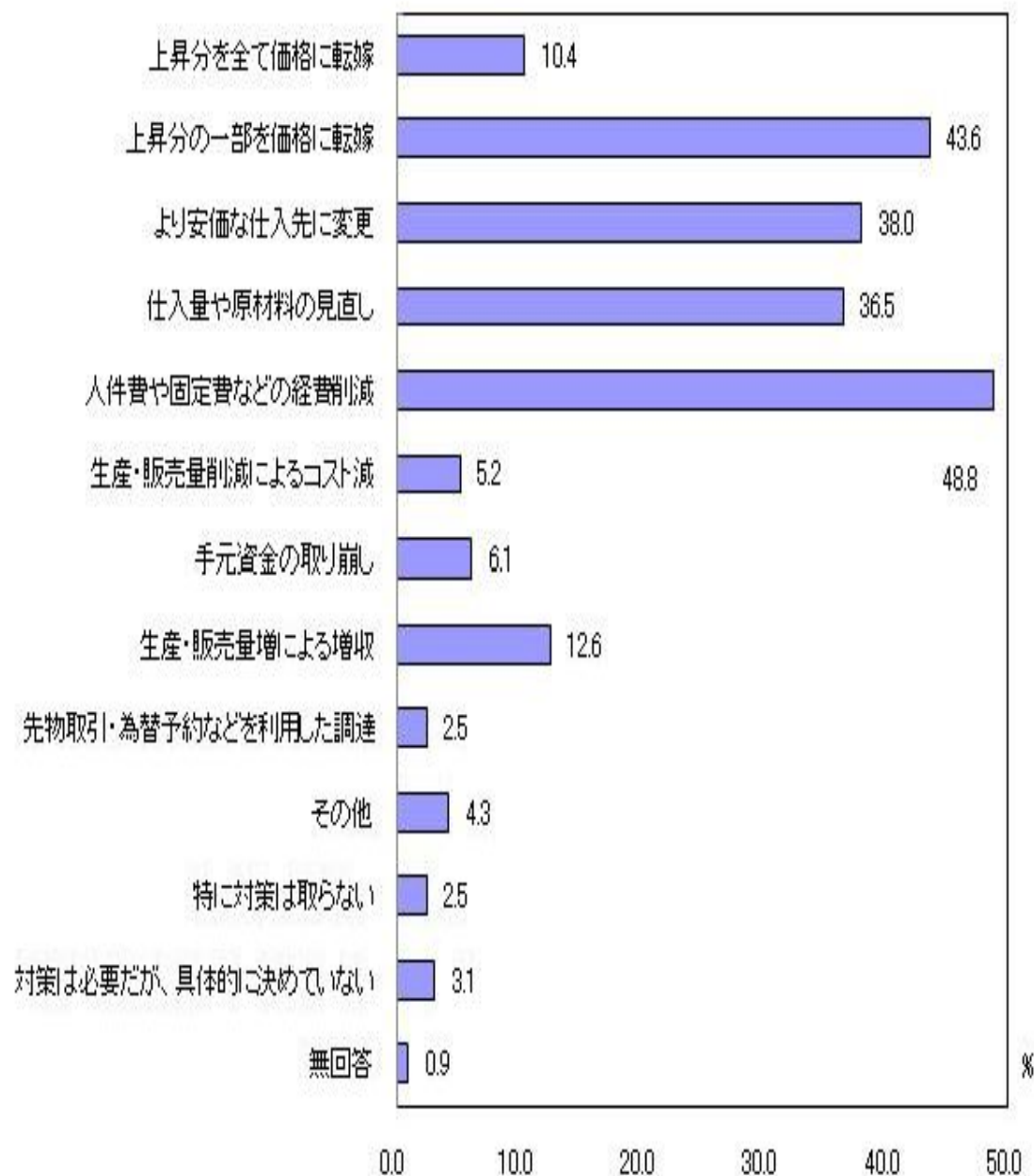
■ 原材料等の仕入れ価格(現在) □ 原材料等の仕入れ価格(3カ月後)

(2) 価格上昇の影響が大きい分野



原材料・商品の価格上昇の影響が大きい分野について尋ねたところ、「原油・石油製品」(46.6%)との回答が最も多く見られた。

(3) 仕入れ価格上昇への対策(3項目以内複数回答)



仕入れ価格上昇への対策について尋ねたところ、「人件費や固定費などの経費削減」(48.8%)、「上昇分の一部を製・商品、サービス価格に転嫁」(43.6%)、「より安価な仕入先への変更」(38.0%)との回答が多く見られた。

【参考－BSI値の推移】

回数・時期	国内景気			自社業況			
	足元	3カ月後	6カ月後	足元	3カ月後	6カ月後	
1	2001年3月	▲ 56.4	▲ 33.1	▲ 9.8	▲ 21.6	▲ 17.7	▲ 0.9
2	2001年6月	▲ 44.2	▲ 23.5	6.7	▲ 31.7	▲ 6.8	9.5
3	2001年9月	▲ 78.6	▲ 58.1	▲ 37.7	▲ 44.8	▲ 27.9	▲ 21.7
4	2001年12月	▲ 69.8	▲ 59.3	▲ 26.8	▲ 38.4	▲ 30.9	▲ 17.4
5	2002年3月	▲ 66.1	▲ 33.7	▲ 11.5	▲ 37.6	▲ 20.1	▲ 3.2
6	2002年6月	▲ 7.0	6.4	31.0	▲ 19.9	▲ 2.5	15.6
7	2002年9月	▲ 19.0	▲ 4.4	2.0	▲ 15.8	▲ 5.5	▲ 3.1
8	2002年12月	▲ 39.0	▲ 40.5	16.1	▲ 7.9	▲ 18.8	▲ 10.8
9	2003年3月	▲ 40.3	▲ 26.7	▲ 12.8	▲ 16.9	▲ 19.1	▲ 7.2
10	2003年6月	▲ 36.0	▲ 26.1	▲ 5.0	▲ 25.1	▲ 10.9	4.3
11	2003年9月	6.1	20.8	16.8	▲ 5.2	13.2	7.8
12	2003年12月	27.1	16.6	27.5	12.3	3.5	6.6
13	2004年3月	30.7	37.0	32.9	5.5	8.1	13.0
14	2004年6月	40.5	34.6	35.6	6.8	18.3	22.3
15	2004年9月	35.0	29.3	15.0	14.0	15.2	5.7
16	2004年12月	13.5	▲ 9.6	4.5	7.1	4.8	4.6
17	2005年3月	▲ 10.0	5.5	15.7	▲ 3.0	3.2	16.5
18	2005年6月	9.2	12.9	28.2	▲ 1.1	11.0	19.9
19	2005年9月	24.0	27.6	23.0	4.1	18.8	16.8
20	2005年12月	47.5	38.8	36.3	16.9	20.5	13.9
21	2006年3月	40.7	46.5	39.8	14.3	15.4	19.9
22	2006年6月	41.1	39.0	30.6	7.4	20.0	25.1
23	2006年9月	35.3	34.5	18.7	8.4	22.7	14.4
24	2006年12月	30.2	15.5	15.6	20.7	13.0	12.8
25	2007年3月	20.4	29.7	24.9	7.3	16.0	20.9
26	2007年6月	15.1	19.8	22.0	▲ 0.2	15.5	24.7
27	2007年9月	3.6	13.5	10.2	▲ 1.2	11.6	12.1
28	2007年12月	▲ 15.9	▲ 22.1	▲ 10.1	3.7	▲ 2.0	▲ 0.2
29	2008年3月	▲ 43.9	▲ 35.1	▲ 18.8	▲ 15.6	▲ 12.9	▲ 2.6
30	2008年6月	▲ 48.6	▲ 44.6	▲ 32.4	▲ 22.6	▲ 17.5	▲ 6.9
31	2008年9月	▲ 66.2	▲ 55.8	▲ 42.2	▲ 27.9	▲ 17.7	▲ 17.4
32	2008年12月	▲ 83.1	▲ 78.4	▲ 56.9	▲ 41.7	▲ 42.4	▲ 33.4
33	2009年3月	▲ 87.9	▲ 65.3	▲ 39.2	▲ 63.9	▲ 52.6	▲ 36.2
34	2009年6月	▲ 42.2	▲ 19.6	8.5	▲ 46.5	▲ 23.0	▲ 1.3
35	2009年9月	▲ 16.6	▲ 5.0	1.7	▲ 24.4	▲ 11.1	▲ 10.2
36	2009年12月	▲ 16.8	▲ 23.6	▲ 5.4	▲ 14.2	▲ 23.6	▲ 16.8
37	2010年3月	▲ 9.9	▲ 1.4	8.6	▲ 19.3	▲ 12.2	0.2
38	2010年6月	4.5	5.3	18.7	▲ 6.5	▲ 0.2	12.8
39	2010年9月	▲ 17.1	▲ 20.2	▲ 17.0	▲ 10.6	▲ 6.3	▲ 10.0
40	2010年12月	▲ 18.5	▲ 15.9	3.7	▲ 9.9	▲ 14.4	▲ 0.2
41	2011年3月	5.3	6.9	9.8	▲ 1.6	1.4	5.0

国内景気判断と自社業況判断の推移

